

## 助詞の「と」

### 1. 格助詞の「と」

- (1) 動作をともにする相手、または動作・関係の対象を表す
  - ・彼と一緒に行く
  - ・劉さんと試合をする
- (2) 動作・作用・状態の内容を引用する
  - ・<文や句>と思う
  - ・<文や句>と言う
- (3) 比較の基準
  - ・昔と違う
- (4) 動作・状態等の結果を表す
  - ・さなぎは脱皮して成虫となった
  - ・長い議論の末、中止と決まった
- (5) 擬音語・擬態語に付く
  - ・風がそよそよと吹く
  - ・雨がぱらぱらと降る
- (6) 数量を表す語に付き、打ち消しの表現とともに使われる
  - ・駅まで5分とかからないよ
  - ・両方合わせても10ページとないよ
- (7) 動詞・形容詞を重ねて強調を示す
  - ・ありとあらゆるもの

### 2. 接続助詞の「と」

- (1) 二つの動作・作用が同時に、または連続して起こる
  - ・ドアを開けると子供が出てきた
- (2) ある動作・作用がきっかけとなって次の動作・作用が行われる
  - ・ボタンを押すとお釣りが出る
- (3) 順接の仮定条件
  - ・10 元を円に換えると 170 円になる
- (4) 逆接の仮定条件
  - ・誰が何と言おうと私は行くぞ
- (5) 次の話題の前提
  - ・ニュースによると今夜は雨が降るそうです

### 3. 並列助詞の「と」

- ・山田君と高橋君と僕とは同じクラスだ （最後の「と」は無くてよい）
- ・昼食にパンとハムとゆで卵とサラダを食べた

#### 「て」で置き換えられる場合

上記で2の(1)は「て」で置き換えられる場合があります

- ・電気を消すとすぐ眠ってしまった → 電気を消してすぐ眠ってしまった
- ・お酒を飲むと赤くなる → お酒を飲んで赤くなる

主語が変わる場合には置き換えられません

- ・ドアを開けて子供が出てきた （子供がドアを開けたことになる）

この場合、「と」は助詞ですが、「て」は助詞ではなく動詞の活用語尾（て形）だと考えられます。下記の文と同様に動作の順序を示しています。

- ・朝起きて、顔を洗って、食事をします
- ・砂糖を入れてコーヒーを飲みます

上記2文は、どちらも「て」を「と」に置き換えることはできません。

×朝起きると顔を洗うと食事をします

- ・砂糖を入れるとコーヒーを飲みます （条件文になる）